



さかえ

広報

発行 / 栄村役場

平成29年
2月号
第399号



*

1月15日(日) さかえ倶楽部スキー場において「スキーこどもの日宝探し大会」が実施されました。

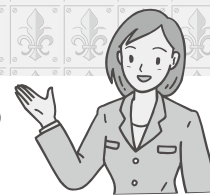
雪が降るなかでの開催となりましたが、集まった子どもたちは元気よく抽選券のついたカードを探しまわっていました。

次回の開催は2月19日(日)の開催となります。

主な内容

■確定申告について.....	P2
■奨学金についてほか.....	P3
■スキー場情報ほか.....	P4
■保健だより.....	P8
議会報(第181号).....	P10-17
公民館報(第315号).....	P18-25

納税申告相談のお知らせ



今年も申告の時期となりました。役場では下表のとおり納税相談を行いますので、村県民税の申告書と必要書類をご用意のうえ、各相談会場へお越しください。

◆申告に必要な書類（平成28年1月1日から平成28年12月31日までのもの）

- | | |
|--|---|
| ①平成 29 年度分村県民税申告書 | ⑧事業所得については、収入額と支出額の照合できる書類 |
| ②預金通帳(申告者本人名義)とその印鑑 | ⑨障害者等控除を受ける方は、障害者手帳または障害者控除対象者認定書 |
| ③給与または賃金・年金等のある方は源泉徴収票 | ⑩税務署から確定申告の封書が送付されている方はその封書 |
| ④国民年金・厚生年金等の掛金年額のわかる書類(ハガキの証明書が届いています) | ⑪雑損控除など、損失の繰越額がある方は、昨年の確定申告書の書類 |
| ⑤生命保険料・個人年金保険料・損害保険等の証明書などの書類 | ⑫確定申告(納付、還付)される場合、マイナンバーカードの写し、又は通知カードと運転免許証などの写し |
| ⑥医療費支払い領収書 | |
| ⑦日雇いや出稼ぎのある方は、支払証明等収入金額のわかる書類 | |

◆日 程

相談日	会 場	時 間	対象地区
2月16日(木)	志久見公民館	午後1時～午後4時	雪坪 志久見
2月17日(金)	柳在家公民館	午前10時～正午	柳在家 切欠
	長瀬公民館	午後1時～午後4時	長瀬 笹原
2月20日(月)	大久保公民館	午後1時～午後4時	◎野田沢 大久保 天地
2月21日(火)	北野天満温泉	午前10時～正午	◎極野 ◎中野 ◎坪野
		午後1時～午後4時	北野 ◎当部 天代 ◎原向
2月23日(木)	ながの農協 栄出張所	午前10時～午後4時	箕作 ◎泉平
2月24日(金)		午前10時～午後4時	月岡 ◎小滝 ◎横倉
2月27日(月)	白鳥公民館	午前10時～午後4時	白鳥
2月28日(火)	平滝公民館	午前10時～午後4時	平滝
3月1日(水)	青倉公民館	午後1時～午後4時	青倉
3月2日(木)	秋山郷総合センター とねんぼ	午後1時～午後5時	◎屋敷 ◎上野原 ◎和山 切明
3月3日(金)		午前9時～午前11時	小赤沢
3月5日(日)	栄村役場 多目的ホール	午前9時～午後4時	村内全地区
3月6日(月)		午前10時～午後4時	森 塩尻 五宝木
3月7日(火)		午前10時～午後4時	村内全地区
3月8日(水)	栄村役場 第一会議室	午前9時～午後7時	村内全地区
3月9日(木)		午前9時～午後7時	村内全地区
3月10日(金)		午前9時～午後7時	村内全地区

※地区分けをしていますが、都合のつかない方や自分で相談に来られる方は、どの会場で申告されても結構です。

※◎印の地区は、シャトルバスを運行しますのでご利用ください。運行表は各対象地区の皆さんあてに配布します。

【問合せ先】会計税務課 ☎0269-87-3111 (代表) ☎050-3583-2114 (直通)

村では経済的理由により、修学に困難のある学生に対し、奨学資金を貸し付ける制度を実施しています。

奨学資金は奨学生本人に貸し付けし、奨学生本人が償還を行うものです。卒業後の生活設計等十分考慮して申込みを行ってください。

申込書類は教育委員会事務局でお受け取りください。なお、申請は必ず学生本人が行っていただくようお願いいたします。

◇貸付対象者

高等学校またはそれ以上の学校に在学する者、又はしようとする者。

◇貸付金額

月額1万円、2万円、3万円から選択できます。

◆貸付方法

年4回、5月・8月・11月・2月に3カ月分を口座振込します。

◇貸付利率 無利子

◆ 償還方法

奨学資金を借り終えた後、借入年数に応じた年数で償還します。

◆ 申込期間

平成29年3月21日（火）～3月29日（水）

※申込み受け付けは、この期間限りです。

※申込み書類は、3月1日以降
教育委員会事務局で受け取つてく
ださい。

◆貸付決定

4月中に栄村育英基金運営委員会で審議し貸付を決定します。

【問合せ先】

栄村教育委員会事務局

0269-8731-118

人権擁護委員
島田たつ子さんが再任

人権擁護委員として3年間ご尽力いただいた島田たつ子さん（箕作）ですが、引き続き2期目の人権擁護委員に就任いただきました。

任期は平成29年1月1日から平成31年12月31日までとなります。

当村の人権擁護委員は上倉章夫さん（平滝）と2名で、広く人権の擁護に努めますのでよろしくお願いいたします。

また、人権問題（虐待、差別）でお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

【問合せ先】

長野地方法務局 飯山支局
☎0269-62-2302

自動車の登録・検査
手続きはお早めに

毎年、3月下旬は自動車の検査・登録申請が多く、窓口が大変混みます。車両の手続は、1ヵ月前から受け付けできますので、なるべく2月中旬に、廃車・名義変更等の手続は、3月中旬までに申請されるようお願いいたします。

【問合せ先】

長野運輸支局

・登録の場合

050-5540-2042

- 検査の場合

026-243-5525

信濃中野法人会より
寄付金

12月19日(月) 一般社団法人信濃中野法人会より7万円の寄付金を受けております。

いただいた
た寄付金は

保健福祉分野で活用されます。



小型特殊自動車の登録
手続きをお願いします

フォークリフトなどの小型特殊自動車や、乗用装置のあるトラクター、コンバインなどの農耕作業用自動車は、軽自動車税が課税されます。

公道を走行しない、現在未使用の車両でも所有していれば課税対象となります。

まだ申告をされていない方は、速やかに標識交付の手続きをしてください。自動車の大きさ、最高速度が表の範囲外であれば大型特殊自動車に該当し固定資産税（償却資産）の課税対象となります。

区分	小型特殊自動車	
	農耕作業車	その他 (農耕作業車以外)
大きさ	制限なし	長さ 4.7m 以下 幅 1.7m 以下 高さ 2.8m 以下
総排気量	制限なし	
最高速度	時速 35km 未満	時速 15km 以下

【問合せ先】

役場会計税務課
☎0269-873111

発電施設の名称	施設位置	最大発電出力
東京電力 信濃川発電所	飯山市 西大湊	16.900 万 kw
東京電力 中津川第一発電所	津南町 穴藤	12.700 万 kw
東京電力 切明発電所	切明	2.010 万 kw
東京電力 栃川発電所	和山	0.100 万 kw
東京電力 宮野原発電所	長瀬	0.260 万 kw
中部電力 志久見川第一発電所	長瀬	0.610 万 kw
中部電力 志久見川第二発電所	極野	0.660 万 kw

vol.21



少々遅くなりましたが、今号が今年の私の初寄稿となります。栄村の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

いました。

逆に除雪に関しては嬉しい話もあります。

実は昨年、定住を視野にいれ、大型特殊免許と作業免許を取得しており、機会があれば除雪の仕事もしたいと思っています。取りあえず練習がてらに秋山支所周辺をブルで押してみたり、道路除雪の補助員としてタイヤドーザー等の重機の補助員席に乗って、除雪の方法を教えて頂いたりしています。なぜあんなに上手く、

手足の様に動かせるの
 だろう？と
 助手席から
 感嘆の声を
 上げている
 のですが、
 横に乗って
 いるだけで
 は上手くな
 りませんね。
 少しずつ練



習して将来的には自身で作業出来る様になりたいと思っています。

それにしても、集落の方々は「こんな雪、たいした事ない」とキツパリ。雪と共に暮らしてきた皆様と一緒にいると心強いです。

（地域おこし協力隊 坪内大地）

復興支援員便り

お正月までの小雪が嘘のように
栄村らしくなってきました。皆様
お元気で過ごして下さい。復
興支援員の高橋です。今回は雪と
安全の話をしたいと思います。

栄村の雪をどうするか。雪は大變手の掛かる問題児ですが、雇用を生み出す金の卵であり、豊かな水を与え、大地を休ませ、四季の彩りを一層華やかにしてくれるものであります。

昔と比べて少雪になったこともあります。機械が発達して栄村の生活はとても楽なものとなりました。道路は綺麗に除雪され、雪害救助員制度などもあり、世界で有数の雪でも、見事に対応していると感心します。更に、お金は掛かりますが除雪機があれば誰でも簡単に雪を飛ばすことができ、スノーダンプなども良くなり屋根の雪下ろしも楽になりました。

しかしこれだけ便利な時代になつても、除雪の事故は無くなりません。毎年のように栄村でも悲しい事故が起きています。自分の家の周りをちよつとやるだけと思わず、みんなで助け合つて事故を撲滅しませんか。

- (1) 一人で作業しない、もしくは見て

いるだけで良いからと近所の人
 声を掛けたり、「除雪中」とわ
 かるものを立て、周りの人もま
 やっているのかなと気を向ける。

(2) 平場での作業でもヘルメットを被り、屋根に上るときは、はしごに重しを付けるなどしつかり固定。もし落ちてでも大事に至らないように下の雪を残しておくなど。

(3) 大きな音の出るブザーや笛、携帯電話を持つ。急に体調が悪くなったときなどに役立ちます。

(4) 除雪機を構う時は絶対にエンジンに切る。除雪機の前には人を立ち入らせない。回転するときなどは後ろを確認。

これだけでもだいぶ変わるのではないかと思えます。慣れているから大丈夫と思わず、集落のみんな、家族のためにもお互いに安全対策を！

個人で出来る安全対策について、色々考えています。一緒に考えて頂ける方、良い案を聞いたぞと言う方、怖い思いをしたと言う方、社協の支援員高橋までご連絡お待ちしております。

これからまだ雪が続くと思います
すが、無理しないでくださいね。

（復興支援員 高橋 琢磨）



保健だより



～認知症を予防しよう～

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が壊れてしまったり、働きが悪くなったりするために日常生活に支障が出ている状態のことを言います。

認知症と単なるもの忘れの違い

認知症	単なるもの忘れ
もの忘れの自覚がない	もの忘れをした自覚がある
前に買った物を忘れ、同じ物を買う	買い物に行ったときに、 買う物を忘れる
食事をしたこと自体を忘れる	何を食べたか忘れる
日付や曜日などがわからなくなる	日付や曜日を間違えることがある



認知症を予防するためには

①体を動かす習慣をつける

今より10分多く体を動かすことを心がけてみましょう。例えば、家の中でできるラジオ体操があります。適度に体を動かすことは、脳の血液の流れを増しますので、毎日の習慣として取り入れてみましょう。

② バランスのとれた食事をする

栄養が十分にとれていないと、脳の働きも低下します。肉、魚、野菜などバランスのとれた食事を心がけましょう。また、よく噛んで食べることも脳に刺激を与えてくれます。

③脳を使う生活を心がける

新聞や本を読んだり、日記を書いたり、新しい趣味をみつけたり、日々の生活の中で脳を刺激するヒントはたくさんあります。使わないと脳は衰えていきますので、毎日の生活の中で工夫をしていきましょう。



もし身近に認知症の方がいたら ～接し方のポイント～

できごとを忘れることがあっても、感情は心の中に残ります。否定したりせずに、できない部分をサポートして、思いやりをもって接することが大切です。

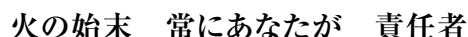


岳北地域&津南町情報コーナー

津南町

木島平村

【問合せ先】 野沢温泉観光協会 <http://nozawakanko.jp>



※振替指定口座の残高を事前にご確認ください。





栄村 議会報

発行 栄村議会
責任者 福原 和人
編集 議会報編集委員会

第 181 号

内容：○林活議連視察研修報告 ○栄村議会視察研修報告 ○森重副村長初議会 ○平成28年第4回定例会・第5回臨時会・第6回臨時会・平成29年第1回臨時会：主な可決案件 ○陳情審査結果
○平成29年度栄村予算樹立に関する提言書 ○一般質問8名

林活議連視察研修報告「薪を利用して地域の活性化」：生坂村・安曇野市・塩尻市

総務文教常任委員会委員長 阿部 伸治

10月24日、議員11名と事務局1名で林活議連視察研修に行ってきました。今回の視察研修にテーマを付けるとすれば「山のお宝再発見!」といったところでしょうか。主に薪を利用して地域の活性化に取り組んでいる事例として生坂村、塩尻市、安曇野市の各市村を尋ねました。

最初に伺った生坂村の取り組みは、薪販売のシステムに活性化の姿勢を感じました。仕入れは一般の持ち込みと支障木が主なのですが、軽トラックの荷台に平らで、一台につき4千円の地域商品券を対価としています。また受けた材料を商品にしていくのはシルバー人材の人たちというように、何に主眼を置いているのかが分かり易い事業と感じます。ただ課題もあるようで、持ち込んでくれる人がまだ少ないこと。増えれば増えたで営業が大変ということもあり、完全に自立というのは当面先ようです。

塩尻市では、同じ薪販売を見てきましたが、これはけた違いの物でした。持ち込む材料にも直径が15cmを超えるものでないと引き受けないなど制約も厳しく、敷地も広く、製品や材料は生坂村

の何百倍ともいえる物で、生産森林組合のような組織が活動として大量に材料を持ち込んで来るケースが主なようです。その点、当村も生産森林組合事情を考えるとうらやましい部分ではないかと感じました。

安曇野市の薪ボイラーと展望台についてですが、この地域は松くい虫の被害が深刻です。そこで被害木を利用して薪ボイラーを導入し、保養施設を運営しているというもので、燃料費の大幅削減に成功しています。地域事情をプラスに変えた優秀な事例と感じました。また近くにある地元木材でできた展望台も秀逸で360度のパノラマは見事なもので、約2千万円の投資ということも納得です。

今回の研修を通して、当村では「山のお宝」の活用術が未熟であると感じました。木材に限らず他の利を生かした取り組みが今後求められると思います。



▲生坂村：薪ステーション



▲塩尻市：薪販売



▲安曇野市：天平の森・薪ボイラー



▲安曇野市：展望台

栄村議会議員 視察研修報告:群馬県南牧村(なんもくむら)の取組について

総務文教常任委員会委員長 阿部 伸治

11月14日～15日に議員9名と事務局1名で視察研修を実施しました。私は、14日の視察先、群馬県南牧村の取組について報告します。

南牧村は、人口約2千人。観光パンフレットの一面にカタクリの花を見ものとして掲載するなど、栄村と似ている部分も多いと感じたのですが、群馬県にしては比較的温暖で、冬期間スタッドレスタイヤに履き替えない人も多いそうです。

私が特に驚いたのは田んぼが一枚も無いということです。では、基幹産業は一体何かということですが、以前は養蚕やコンニャク、そして林業で生計を立てる人が多かったということですが、いずれも衰退し、隣の下仁田町に職場を求める人が多いようです。従って仕事を求め、若者が地元を離れるという悪循環は、むしろ栄村よりも深刻であるかもしれません。

そのようなことから、この村を有名にしているのが「高齢化日本一の村」という、あまり喜べない称号です。しかし、全く下を向いていない村だということから視察先にと選びました。

村長直々に迎えてくださり、説明をしていただいたので



▲南牧村：長谷川最定村長との懇談会



▲ケアハウス「いこい」

すが、まず基本的にこれ以上村民の負担を増やさないということをお大前提とし施策を考えているということでした。中でも国民年金受給者でも入れるケアハウスをつくったということは全議員の関心を引いたことは間違いありません。月額5万8千円という入居料を実現しているのです。また運営に当たってはNPO法人を立ち上げて公務員並みの給料を旗印に、若い人たちの働く場として成立していると聞くと、是非栄村でも真似したいものです。現在は20世帯分1棟ですが、次年度もう1棟、現施設の隣に建設するそうです。またこの他にも空家対策として年間3棟程度リフォームし、入居者を入れています。栄村のように耐震強度はそれほど考えないようです。他にも直売所のマージンは10%。加工所を利用して利用料は取らず13%のマージンで販売できるなど、村が後ろ盾となり様々な活性化施策を行う元気な村として大きな刺激を受けた視察になりました。

栄村議会議員視察研修報告:群馬県新治村(にい はるむら)「たくみの里公園」視察

産業社会常任委員会副委員長 上倉 和美

新治村は、平成の大合併で群馬県みなかみ町になっています。平成5年の時に、冬仕事の味噌づくりや、わら細工、竹細工などが消えていってしまうことから、手工芸、食文化、歴史文化の伝承の大切さ、高齢者の生きがい対策等を含め「人を活かし地域を活かす事業」として「新治村公園構想」を立案し、村民に分かり易いように構想を一枚の絵に示したのが始まりでした。

活動27年目の平成24年に「オーライニッポン大賞グランプリ」を受賞しました。オーライは「往来」の意味で、都市と農山漁村の人々が活発に行ったり来たりして、双方の生活文化を楽しむことなのです。

この公園構想は①温泉公園②フルーツ公園③たくみの里公園から成り立っています。私たちは栄村に共通点のある「たくみの里公園」を視察しました。

わらや木工、陶芸、押し花、ドライフラワーなど28件のお店が「ようこそいらっしゃいませ」の形に整っていました。訪ねた木工屋さん、黒柿でつくった「急須」を自慢げに見

せてくださいました。なんと18万円の値札が付いていてびっくりしました。オンリーワンの手工芸です。

中心地は「豊楽館」といって、農家直売所があり、野菜、果物はもちろんですが、豆腐、味噌、納豆、饅頭などの製造販売をしています。

「温泉」「フルーツ」「たくみ」の3施設の年間売上は3億円程で、28件のたくみの皆様の売り上げも、その数字に匹敵するとか。人口6千人程の地域にとっては大変なものです。この地の入場者数は10年前は45万人でしたが、平成27年は38万人で、立ち上げてから30年が経ち、今後の課題もあるようですが「また行ってみたい」と思った私としては、まだまだ元気発進中の感想でした。

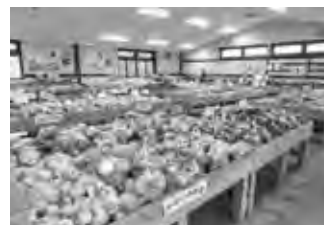
栄村も30年前頃に、このような視点で村おこしがあったとしたら、その分野で誇れる形のものが残っていたかも知れないと思いました。歴史は今つくれるものではないし、残して活かしていくもの。自立の小さな栄村だからこそできる「和」の精神、根性で村を語り合っていかなければと思いました。



▲たくみの里総合案内所



▲直売所「豊楽館」での視察研修





◆森重副村長 初議会◆

12月6日に開会された平成28年第4回定例会は、同月5日に就任された森重副村長の初議会となりました。「村長の公約実現のためのサポート」「組織の活性化」「2千人の住民の方々と共に栄村を盛り上げていきたい」と、以上3点について日々じっくりと丁寧に職務に当たっていききたいという挨拶がありました。

11月臨時会・12月定例会・1月臨時会 主な可決案件

案 件 名	内 容
—11月臨時会— ◆平成27年度社会資本整備総合交付金（復興）事業村道天代坪野線橋梁架替（3）工事変更請負契約の締結について	・取付道路工事との施行調整が必要なため、舗装工及び踏掛版工を減工し、検査路工を増工するため ・現 契約金額：83,160,000円 ・変更契約金額：81,777,600円（1,382,400円の減額）
◆平成27年度社会資本整備総合交付金（復興）事業村道天代坪野線橋梁架替（4）工事変更請負契約の締結について	・路体盛土工を減工するため ・現 契約金額：68,396,400円 ・変更契約金額：68,050,800円（345,600円の減額）
◆平成28年度栄村一般会計補正予算（第4号）	・平滝地籍において建設中の貸工場の外構工事（消雪対策）の工事請負費 ・補正額：12,000千円
—12月定例会— ◆平成28年度栄村一般会計補正予算（第5号）	・震災復興基金確定により、同基金への積立金の減額、ふるさと納税の追加による農業振興基金への積立金の追加、豊栄地区における第2次避難所の年度内の建設が難しいことから事業費の減額など ・補正額：▲170,761千円
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算（第3号）	・栄村診療所費で、水銀を使用している血圧計、体温計の処分料。科目変更による補正 ・歳入歳出予算総額：136,260千円に変更なし
◆平成28年度栄村簡易水道特別会計補正予算（第3号）	・極野公民館新築による水道管移設に係る修繕料 ・補正額：1,200千円
◆栄村税条例等の一部を改正する条例の制定について	・日本と台湾の間で租税条約に相当する枠組みが構築されたことによる地方税法等の一部改正に伴い、栄村税条例の一部を改正する
◆栄村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	・栄村国民健康保険税の軽減割合について、均等割及び平等割の現行6割、4割を7割、5割に移行し、さらに2割軽減を新たに創設する
◆村道の路線の認定について	・県道秋山郷森宮野原（停）線中の極野、中野集落間の道路改築工事完了により路線変更となったため、変更前の区間を村道として認定したいため
◆栄村過疎地域自立促進計画の変更について	・起業促進と企業誘致について、新規起業と雇用促進の補助制度新設に関する記述の変更。バス路線では、秋山線車庫兼営業所に関する記述の変更。秋山地区の高齢者生きがいセンター車庫を建設することの記述変更など
—12月定例会：追加議案— ◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・平成28年の人事院勧告において、俸給表が平均0.28%引き上げられ、期末・勤勉手当の年間支給月数が4.20ヵ月から4.30ヵ月に引き上げる勧告がなされ、この勧告並びに県、近隣の町村の動向を参照の上、栄村職員労働組合との協議により改正するもの
◆平成28年度一般会計補正予算（第6号）	・平成28年人事院勧告による一般職の人件費の改定と切明の鉱泉地取得費 ・補正額：6,787千円
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算（第4号）	・人事院勧告による職員の給与改定 ・補正額：692千円

案 件 名	内 容
◆平成28年度栄村介護保険特別会計補正予算（第3号）	・ 人事院勧告による職員の給与改定 ・ 補正額：42千円
◆平成28年栄村介護サービス特別会計補正予算（第3号）	・ 人事院勧告による職員の給与改定など ・ 補正額：178千円
◆平成28年栄村簡易水道特別会計補正予算（第4号）	・ 人事院勧告による職員の給与改定 ・ 補正額：37千円
◆平成28年栄村スキー場特別会計補正予算（第2号）	・ 人事院勧告による職員の給与改定 ・ 補正額：37千円
◆栄村保健師看護師等奨学資金貸付条例の制定について	・ 保健師・看護師等を養成する学校に在学する学生に対して奨学資金を貸し付けて、栄村に勤務する保健師・看護師等の確保を目的とするもの
—平成29年1月12日臨時会— ◆栄村教育委員会委員の任命について	・ 現教育委員の任期が平成29年2月5日をもって満了となるため ・ 新教育委員：半藤則子氏（白鳥）
—平成29年1月24日臨時会— ◆専決処分について:平成28年度栄村一般会計補正予算（第8号）	・ 高齢者総合福祉センターで実施している介護福祉事業を今年4月から栄村社会福祉協議会に移管するための施設改修工事費など ・ 補正額：22,639千円
◆平成28年度栄村一般会計補正予算（第9号）	・ 栄村振興公社への出損金 ・ 補正額：21,000千円

陳情審査結果

陳情件名	陳情内容	陳情者	審査結果
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	平成27年に実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。 こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにすることが議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。 よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。	長野県町村議会議長会 会長 久保田三代	採択 ※全員賛成 11名 (議長除く)

◆平成29年度栄村予算の樹立に関する提言書を村当局へ提出◆

総務文教常任委員会	1. 村民が希望の持てる村政施策を進めるため、交付税の安定確保に努めること。 2. 復興基金を含むすべての基金の使途に関しては、地域住民に潤いを与えるような事業計画を立て、進めること。 3. 村からの情報発信は積極的に実施し、日々新しい情報を提供して観光・産業等地域の付加価値を高めること。 4. 地域おこし協力隊の積極的増員を図り、地域の活性化を促すように進めること。 5. 人口減少問題に知恵を出し合い、特に空家対策など、目標を定めて積極的に取り組むこと。 6. 義務教育の更なる充実を図り、栄村独自の教育環境を作ること。 7. 伝承文化・芸能・文化財保護に力をいれ、苗場山麓ジオパーク事業に積極的に参画すること。
産業社会常任委員会	1. 社会保障制度が改正され、村の財政的負担・村民の負担が重くなっている中で、村政運営にあたっては、住民サービスなどが後退しないよう十分配慮されたい。 2. 里山・森林保全環境を整備し、特に若者の雇用環境を整備すること。 3. 集落営農の充実、農地の地力増進と有機農産物栽培の普及を進め、生産・加工・販売と一貫した農産形態を確立し、基幹産業である農林業に重きを置いた政策を強力に進めること。 なお、中山間地農業を守るため、村として断固TPPに反対すること。 4. 村の活性化のために、自然エネルギービジョンの策定に取り組み、集落の存続に不可欠な道水路の改修など、取り組みを強化すること。 5. 予算の執行にあつては、予算内で納める努力をすること。



松尾眞議員

SLの定期運行にむけての村の取り組みは？

村長 単独では無理。5年、8年に1回の節目をつくれないうか、提案を出していきたい。

質問

飯山線のSL運行、多くの村民が大変感動した。今後の飯山線SL運行を期待する声が高まっている。栄村としてどのように取り組むか。

村長

私も19、20日、両日迎え、乗ってきた方、地域の皆さんが歓迎する様子について充分どのような対応をしたのか、見せていただいた。今後のことは飯山線沿線活性化協議会と一緒に研究したい。

質問

今回の運行は1億円余りかかったと聞く。定期運行が行なわれている路線ではJRが地元自治体に一定の財政負担を求めていると聞いている。栄村観光の発展、地域活性化のために身の丈に合った範囲のことだが、沿線協議会の中で栄村としてのリーダーシップを発揮するという意味合いも含めて、応分の負担も覚悟した上で、定期運行を求めていくべきだと考える。

村長の考えは？

村長

単独での運行はほとんど無理だと考える。5年に1回、8年に1回とか、そういう節目をつくれないうか。そういう提案を広域に出していきたい。

クマによる重傷事故に対する見解を。今後のクマ対策の強化方針は？

質問

錯誤捕獲の放獣作業中に重傷を負う事故があった。これだけの重大事故の場合、普通、首長がなんらかのコメントを出すものだと考える。村長としての見解を。

村長

今回ちよつとした取扱いのミスで事件に遭遇してしまった。放獣という決めがあるので、放獣を行ったということだ。

質問

有害獣、中でもとりわけ被害が大きいクマの対策を栄村として今後、どのように強化していくのか。

村長

栄村からクマを全部処理するということはクマとの共存、動物保護の関係もある。今後、錯誤捕獲の場合、時間はかかるが、長野から専門業者に来てもらい、麻酔銃を使った対策を取り入れるということで、村の関係では取り組んでいきたい。



上倉和美議員

「阿部家」「秋山郷保存民家」の維持管理と活用について。

村長 早急に調査し、県、村審議会、所有者、地域と協議し取り扱う。

栄村文化財保全について

質問

阿部家は昭和50年に県指定文化財となり40年経過している。小赤沢の秋山郷保存民家は昭和53年に村所有となり、両家とも「かやぶき屋根」で、村の歴史を象徴するものである。建物は暦年を重ね、土台を含め「かやぶき」の状態はよくない。守っていつてくたさる方々も高齢になった。今後の維持管理と停滞している村への来客など、大きな発信等を含めた活用について伺う。

村長

2棟は貴重な財産である。傷んでいるのであれば修理しなければならぬ。阿部家は県指定である。早急に調査し、県、村審議会、所有者、地域と協議し取り扱う。2棟とも観光の財産と位置付ける。「栄村秋山郷観光協会」と「絆」を村の観光事業としての一本化構想を練っている。

教育長

阿部家については所有者の阿部さんと相談しながら建物の維持に努めてきた。将来的なこと、活用等を含め、所有者のお気持ちを尊重しながら文化財としての維持に努めていきたい。屋根の補修については平成30年頃と相談させていただいている。秋山郷保存民家は築200年を超えている建物である。古くなり、補修については多額の費用が掛かるので、やり繰りが大変であるが、貴重な財産であるのでしっかりと守っていかねばならない。

商工観光課長

大久保の阿部さんも、頼りにしていた「おたつしゃ会」の福原さんも高齢になられた。今のところ案内を津南町の「ふる里ガイド」「ジオパークガイド」をお願いしているのが現状だ。ガイドの必要性を感じているので「観光案内ガイド」かやぶき屋根の家で火を囲みながら昔語りのできる「語り部ガイド」等の養成をしていきたい。

○栄村の指定文化財

種別	備考
長野県指定文化財	長野県宝 阿部家住宅
	選択民俗文化財 秋山郷の焼畑耕作
	早蕎麦
	選択無形民俗文化財 秋山地方の口頭伝承(日常生活用語)
栄村指定文化財	箕作の道祖神祭り
	島田氏古文書
	北野神社鰯口
	尖頭器(石槍)
	黒駒太子画像・聖徳太子孝養像
	天然記念物 ユモトマユミ
	史跡 一字一石経塚
	内池館跡



阿部伸治議員

介護付き居住施設について、研究すべきでは。

長 村
このような施設は必要で
あると考える研究していく。

介護付き居住施設考について

質問

議員視察で群馬県南牧村（な
んもくむら）に学んだ福祉政
策が優れていて当村も参考にできるの
ではないかという事で伺う。入居料は
国民年金受給者でも入れるようにと月
額5万8千円。そこで働く職員には公
務員並みの給料の補償を実現している。
補助金や介護保険等を利用して成し得
ていることは当然と思うが、研究すべ
きではないか。

村長

良いアドバイスをいただいた。
このような施設は必要である
と考えており、行政職員を研修に向か
わせ研究し対応していく、今後村の介
護総合事業計画をつくるおり、項目を
入れ研究していく。

健康支援課長

長野県でも以前から
ある制度で、自治体
で建設の例もあるが、現在では居宅介
護サービスの方に重点が置かれている。

村の老人共同住宅も空きがある状態で、
利用希望者が沢山あるかということには
疑問もある。

阿部議員

高齢化率の高い村で
は、福祉事業は基幹産
業にも成り得る。調査、研究を進めて
ほしい。

栄村における宿泊施設の 維持管理について

質問

「振興公社も運営が大変で、
今後儲からない施設は指定管
理契約を結ばないという事態も想定さ
れる。その時、村はどうするか。」と通
告したが、事態はそれ以上に深刻なよ
うだ。まず栄村が施設を含めた観光施
策を明確にしていく必要がある。考えを
伺う。

村長

観光については村全体に財産
がある。それらを中心に進め
ていこうと思うが、人を呼ぶにはそれな
りの施設、交通機関を含め整備しなけ
ればならないと思っている。役場行政機
関の方でイベント事業もやっているが、
これらは観光協会へゆだねたいと思っ
ている。協会には各観光事業団体や振興
公社も入っているの、打ち合わせをし
ながら本来の観光に結び付けていってほ
しい。新たな取り組みとしては観光業
で実践を重ねたプロの導入も考えてい
かなければならないと考えている。



石沢正議員

小水力発電建設を前提 とした本調査について。

長 村
水だけでなく雪に対
する研究も特命対策
課で研究するように
指示してある。

自然エネルギーを活用し、 環境に優しい村づくり

質問

当村は、面積の9割が森林で
あり、山間地と日本有数の豪
雪地帯のため、安定した水量と落差が
確保でき、小水力発電建設に有望と思
われる適地が多くある。平成24年に小
水力発電仮調査を実施し、坪野、栃川、
樽山の3箇所については6年4ヵ月から
10年1ヵ月で償還可能との結果が示さ
れている。①建設を前提とした本調査等
について。②新規事業として薪ストーブ
の購入の補助金等について考えられない
か伺う。

村長

①自然エネルギーの関係につ
いては取り組みなければなら
ない。水だけでなく雪に対する研究も
特命対策課で研究するように指示して
ある。②薪ストーブの関係については補

助金等の研究も考えている。

総務課長

平成26年から27年に坪野
水路の水量調査をした結
果、170から180世帯程度の電力
が確保でき、坪野水路のバイパスリン化
を前提条件とし、中山間地の総合整備
事業に合わせ調査設計を進めていく予
定である。

橋梁の維持管理と今後の補 修・修繕等の計画について

質問

①一級、二級、その他村道、
林道を合わせ橋梁の数につい
て。②一番古い橋梁は何年頃建設され
たのか。③今後の調査、修繕等の計画
について。④橋梁の除雪について。

産業建設課長

①村道42橋、林道
9橋で合わせて51
橋。②昭和33年に村道極野線に建設。
③38橋の調査が完了し、平成29年と30
年にそれぞれ2橋を調査する予定。④
村道の29橋、林道の9橋は冬期間の除
雪は行っ
ていない。
春山除雪
の際のみ
という状
況になっ
ている。



▲村道極野線：昭和34年に建設された
橋梁破損状況



石沢一男議員

栄村総合戦略と人口ビジョンについて。

村 長
今後研究を進めていかなければならないと考える。

質問

森駅前商店街と周辺の総合開発を今後どのように進めていくつもりなのか。また人口ビジョンの中に提言されている「5組の移住者の受け入れ」と「出生率2・28」と仮定されることで、平成52年に1,069人まで減少すると推計される人口を1,400人で維持することができるといことだが、今年ゼロだった来年は10組と、倍々となる。どうやって移住者を増やすのかという政策がまったく見えてきていないが。

村長

森宮野原駅周辺の開発については、いかにして人を呼び込むか。また後継者不足の対策をどうするか。今後研究を進めていかなければならないと考える。また人口ビジョンについては、人が集まる就業先、起業先、住む場所を第一に考えていきたい。

商工観光課長

買い物の交通の足とか移動購買車等

研究していきたい。

総務課長

若者が希望する環境や施策が今後の村づくりの鍵である。ただつくればいいものではないので重要業績評価指標を定め、これを点検、検証していく。

住民福祉課長

移住者を受け入れる住宅の確保施策として「空き家バンク」登録制度の運用、また宅建協会や業者に紹介してスムーズな空き家の取引をしていただく制度をつくっていきたい。

特命対策課長

新たな工場建設等での新規雇用と共に、田舎で暮らすことの魅力をPRしていきたい。

森簡易水道の復旧状況について

質問

泥水が水道管から出ていてお風呂、飲み水等にも苦慮しているが、今後の本管、各家庭のボイラー等の洗浄はどのように行っていくのか。

村長

森区の委員会と一緒に協力しながら事業完了へと進めていきたい。早急に減免措置を実施したいと考えている。

産業建設課長

配水池、配水本管は現在清掃作業を予定している。宅内配管もその後行っていく。日中は断水ができないので夜間作業で実施していきたい。



上倉敏夫議員

現行の奨学資金制度とは別に人財育成型創設について、もつと対象範囲を広げてはどうか。

村 長
村社協からの要請があれば早急に対応し研究したい。

奨学資金制度について

質問

現行の奨学資金制度とは別に、人財育成を支援する奨学資金制度の創設について、対象範囲を保健師等に限定せず、介護福祉士、作業療法士等も含めた幅広く養成するのはどうか。また県下に先駆け、給付型奨学資金制度の導入の考えは。

村長

保健師、看護師、准看護師育成型の奨学資金制度は今回設ける。4月から福祉事業は総合的に村社協が運営する。村社協からの要請があれば早急に対応し研究したい。

教育委員会事務局長

育英資金の貸付総額は2,771万6千円。ここ数年の新規貸付認定者は3〜4人で推移している。平成17年以降では滞納している人はい

ない。

介護保険事業について

質問

介護保険料については、65歳になった月から1号被保険者となり、村が決めた保険料を納めることになる。3年前に改定し、毎月上昇を続け、現在基準額5,200円となっている。施設入所者の増加と共に、給付総額が増えているが、村民の50%の人に影響を与えている。介護保険料の軽減をすべきと考えるがどうか。

村長

居宅サービスと予防事業の充足を図り、施設入所者の減少を図りながら研究をしていきたい。

健康支援課長

来年度から通所介護部門（デイサービス）を含め、一体的な福祉サービスは村社協で行う。軽度認定者の重度化の抑制、施設入所者の移管の抑制を図りながら、介護保険料の上昇を抑制したい。





山本千津子議員

集落周辺や水路周辺の森林を優先的に整備できないか。

村長
集落で相談し、実行できる計画案を出せば村も協力する。

集落周辺の森林整備と薪エネルギー事業について

質問

①チップ材に利用している間伐材を集落近辺や水路近辺の森林を優先して整備し、活用することを望むが、栄村自然環境保護条例等に組み込むことはできないか。②森林組合が白鳥工場まで村民が軽トラックで間伐材等を運べば5千円で引き取る(村が2千円補助)という事業を持ちかけている。まだ返事がないと聞くがその理由は。③丸太をそのまま燃やす「バイオオマスガス化燃料ボイラー」の活用を検討できないか。

村長

①集落で相談し、実行できる計画案を出せば村も協力する。

産業建設課長

①小規模の森林計画には補助金が少ない。村が全部出せない。②まだ制度設計が至らないので今後研究したい。

総務課長

③煙の有害物質除去等が問題だ。今後研究する。

村の農産物の販売を促進することについて

質問

①村の計画に「ネット販売促進」があるが、農産物ではどう推進協力してくれるのか。②菅沢農場の活用は。来年からは一反歩3千円の利用料と聞いているが、企業の参入はあるのか。③加工所の追加建設はあるか。④直売所「かたくり」へのアドバースはできないか。

村長

①法人規模くらいの組織に対しては協力する。直売所に「野菜の残りをネット販売しよう」と言ったが、残る野菜が無いのではできない。③家庭的規模の加工所はつくりにくい。大量生産する場合は協力する。④「生産者がお客と交流できないか」と直売所に言ったが、まったく返事もなく交流もされていない。物産館では、外でお客と会話するようにした。触れ合いのある直売所にしてほしい。

産業建設課長

②34haある。農

わないので流れてしまうというのは知らなかった。県に対応してもらう。企業参入は無い。「ししこしょう」を伝統野菜として進める。味噌漬け加工品も進める。③加工所専門職員は徐々に専門職員として置く。



鈴木敏彦議員

医療・介護の負担がかからないように。

村長
福祉事業は社会福祉協議会が運営する。

福祉・介護について

質問

医療や介護の負担が大きくなり「生活を切り詰めなければ」との不安の声を村の中で良く聞く。国の60歳以上の暮らしの調べでも62・3%が貯蓄の目標に「病気・介護に備えて」と答えている。国は2018年度の介護保険改定に向けて、介護保険の値上げ、軽度者への生活支援の原則自己負担など、介護保険の改悪とも言える内容を提案している。社会保障の各分野で負担増と制度改悪の具体化が進められている中で本村はどのように対応するのか。

村長

具体的関係については、今後、国、県から出されると思う。村の福祉事業、訪問サービスから通所サービスの関係は平成29年4月から社会福祉協議会で運営してもらうことを考えている。下駄履きヘルパーなど資格は社会福祉協議会の方で資格取得

まで全額補助するので若い方の雇用の場になればと思っている。登録されている下駄履きヘルパーについては今後話し合いもして、活躍してもらえるか相談したい。



農業委員会の改正について

質問

農地と地域農業を守る農業委員会が公選制から任命制に変わる。これまで以上に国の農業政策による制約が強まることは避けられないと思うが、担い手の確保や農地の有効性、遊休農地の解消など、今まで以上に徹底して村民の立場に立ち、村民に寄り添った農業委員会の運営が強く求められる。委員会の役割や今後の方向は。

村長

本村の農業委員会は、農業を取り巻く諸課題に独自に取り組み、村に対しても「田直し事業」「共同機械化導入モデル事業」などの農業振興に果たした役割は大きかったと感じている。

産業建設課長

7月から新たな任命制度による農業委員会が立ち上がる。条例の改正などについては3月の定例会に審議してもらう予定である。

「みんなの学校」感想を語る会開催



「みんなの学校」上映実行委員会

齋藤 和代

昨年11月27日に、村制施行60周年記念共催事業でドキュメンタリー映画「みんなの学校」を上映しました。上映会には村内の方はもとより、県内外の小学生から高齢の方まで、老若男女154名の方がたくさん集まり、大阪府立大空小学校の学校参観をしました。今回上映した「みんなの学校」は実在する大阪府立大空小学校で、不登校や特別支援学級もなく、みんな同じ教室で一緒に学ぶ普通の公立の小学校です。『みんながつくるみんなの学校』を合言葉に、すべての子どもたちを多方面から見つめ、全教職員、保護者、地域のチーム力で子どもたちを育てる取り組みを追った映画です。

学校参観したみなさんからは「一人ひとりの個性や人格を大切にしたい素晴らしい教育ですね」「地域の人が学校にかかわって考えていくのは素晴らしい教育ですね。」「良い映画を観れ、栄村に足を運べてよかった」「託児付きで久しぶりにゆっくり映画を観られた」との感想をいただきました。

12月10日に映画を観ての感想を語る会を開きました。あいにくの天気の中、0歳児を連れた方から子育ての

大ベテランの方など20代から60代までが車座になり、それぞれの感想や思いを語りました。世代を超えた人の集まりはなかなかないので、貴重な時を共有でき、栄村でも「みんなの学校」の実践が可能ではないかという意見も出しました。

高齢化も少子化も最先端の栄村ですが、学校と保護者と地域が連携をして集落に子どもの声が響くように、栄村で子どもを育ててよかったと思えるような村にしたいと思いませんか？大人が子どもに寄り添い個の力を尊重し、共に学んで子どもを育てていくと、子どもを育てるだけでなく地域の力も培われることを「みんなの学校」は教えてくれました。地域の宝である子どもたちをどう育てていくかは大人の課題です。これからも座談会や講演会を開催して世代を超えた交流を進め、地域の宝を共に育むためにひとつひとつできることから行動していきたいと思えます。

公民館報

さかえ

第315号

平成29年2月1日発行

- 発行
栄村公民館
〒389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺 9214-1
- 電話
0269-87-2100
- 編集
栄村公民館報編集委員会



▲しめ縄づくり講座

栄村の冬文化といえば、雪ほり、野菜貯蔵、そして手仕事。11月からこらっせではわら細工が盛んです。米俵にしめなわにねこつぐら。今でもこの技術を持つ方がいるから後世へと伝えることができ、技術を継承できます。

栄村青少年育成協議会が主催して



いる自然学校では、栄村の文化を伝えるには欠かせない稲作を行っていただきます。農具である「まんが」の代掻きから始まり、稲刈り、はぜの組み方・結び方、千歯こき、木臼、とおみと昭和30年代の稲作を体験しています。米の副産物である藁や米ぬかも使います。昔の暮らしには、無駄なく有効活用する知恵がたくさん詰まっています。12月の活動では、藁でお正月のしめ縄を作り、米ぬかで床磨きをしました。なぜしめ縄を飾るのか、なぜ年末に大掃除を行うのか、なぜ米ぬかで磨くとつやが出るか。そういった様々な風習や知恵を子どもたちに伝えていきます。

栄村には、当たり前すぎて埋もれ



▲自然学校：しめ縄づくり

ている村特有の文化や風習、技がたくさんあります。半年間雪で埋もれるこの地で、食料を上手に保存し食べ繋ぐ知恵を持っています。山が生み出す植物の特性を知り、生活用具として活かす技術を持っています。それは現代の暮らしではあまり必要とされなくなってきたものかもしれませんが、それらは栄村が誇れる資源です。

平成26年12月、栄村と津南町で苗場山麓ジオパークが認定されました。ジオパークといえば、大地の成り立ちや歴史といった学術的なものと思われている方もいるかもしれませんが、実はそれだけではありません。ここで営まれてきた暮らしや文化もジオパークに認定された理由のひとつです。私たち栄村が認定された苗場山麓ジオパークの魅力は、半年間雪に覆われている豪雪地にもかかわらず、知恵や技を使って暮らしを営んできた文化（＝雪国文化）があり、それが現在でも受け継がれていることとだそうなんです。今では少なくなりましたが、栄村には野菜を保存する大根つぐらやいも棚といった越冬させる技があります。もしかしたら冬は毎朝餅だとか、漬け菜がすっかりなくなったら漬け菜煮にするとか、味噌作りは春の彼岸が過ぎてからとか、昔からあたりまえのようにやってきたこ

開館について

開館時間

平日：午前9時～午後5時

休館日：土、日、祝日

※4月より月曜日と祝日の翌日

こらっせ来館者数(1月末現在)

見学者 823名

訪問者 881名

合計 1,704名

※お茶のみ、講座等



▲自然学校：米ぬかの床磨き

とも、知恵や技の詰まった雪国文化なのかもしれません。冬のお茶のみに、「冬と言えなにかがある」というお話をぜひしてみてください。それは栄村だけ、集落だけ、その家族だけの風習かもしれませんが、ない物ねだりはよくある話ですが、栄村のあるある話も、新たな発見ができて意外とありがたいかもしれませんよ。

酉年に思う

村内の酉年は158名。今年も年男・年女の皆さんにインタビューに答えていただきました。

今年のインタビュ内容

- ①今年チャレンジしたいことや目標、決意を教えてください。
- ②栄村に暮らして「よかったなあ」と思うことは？
- ③あなたのモットーや座右の銘、日ごろ心がけていることは？



平成17年生まれ

保坂 花さん(泉平・池のはた)



- ①今年から中学生なので、部活の吹奏楽部を頑張りたいです。
- ②村の人たちがみんな親切で優しい。緑がたくさんあって空気が美味しい。四季がはっきりしている所です。
- ③「苦あれば楽あり」という言葉を苦しい時にいつも考えています。

高橋侑椰さん(青倉・せぎ)



- ①アルペンをやっているの、ケガをしないようにしたいです。良い成績を残せるようにがんばりたいです。
- ②自然が豊かで食べ物おいしいところです。
- ③人にあいさつをすることや人にやさしくすることです。

平成5年生まれ

月岡美咲さん(白鳥・石原)



- ①健康に心穏やかに毎日を過ごしたい。
- ②自分の生まれ故郷で生活できること。姪っ子と頻繁に遊べることです。
- ③明日は明日の風が吹く。『笑いは世界を救う』

上倉昇悟さん(箕作・大新町)



- ①飲み歩き、食べ歩きの一人旅行と趣味を見つけること！
- ②優しい先輩方に

恵まれて毎日楽しく過ごせること。

都会では味わえない栄村の暮らしが自分に合っていたこと。

- ③人生毎日が勉強の連続であること！日々進歩、日々成長

昭和56年生まれ

小林 恵さん(白鳥・つるね)



- ①好奇心いっぱいでも過ごしたい。
- ②みんな温かい
- ③笑顔

宮川一哉さん(野田沢・あらや)



- ①新しい野菜を育て、直売所に新鮮で安全な野菜を出したい。昨年生まれた長男の育児も頑張りたい。
- ②周りや近所の人たちの暖かさと雪の量(多さ)
- ③常に他人への思いやりを心がけている。



昭和44年生まれ

齋藤愛味さん(長瀬)



- ①体力をつけるため、運動を続けたい
- ②自然が素晴らしい。ブナの新緑は特に好きです。
- ③生きてるだけでまるもうけ！

宇佐美昌博さん(横倉)



- ①村のことをもっとよく知りたいので、村のあちこちに出かけたいです。
- ②自然の豊かさ、人のよさを強く感じられることです。
- ③臨機応変



昭和32年生まれ

山田政利さん(小赤沢・さわばた)



- ①昔苗場山で働いていたが、今年是他の山にも登ってみたい。
- ②みなまわりが顔見知りで、何かあっても安心
- ③特にないな

藤木 固さん(当部・坂下)



- ①野菜作り
- ②雪が降るところ
- ③老いた母親と仲良く暮らすこと

昭和20年生まれ

半藤敦子さん(白鳥・源平衛)



- ①健康で野菜を作ること
- ②平和で安心して暮らせること
- ③頑張りすぎない、できない時はやらない。

藤木虎勝さん(極野・与八)



- ①新しい年に向けて自分独自の花の新開発を進めたい。栄村の花を全国市場へ。
- 健康に気をつけて、全力で後10年間は花に力を注いでゆきたい。
- ②あまりよかったという思いは少なめですが、栄村は山菜等雪のうまみを感じています。雪を利用して山菜、花に雪室を。
- ③栄村で12か月仕事ができればと思います。大型ハウスでの冬の仕事、行政等の力をお願いしたい。もつと花を作って栄村をアピールしたいと思います。

昭和8年生まれ

小林静子さん(森・梨の木)



- ①手悪さを楽しみながら、健康に気をつけて仕事を続けたい。
- ②周りの人が本当に親切なこと。遠慮なくお付き合いで生活しやすいし気持ちが悪く落ち着く。
- ③くよくよしないこと。成るようにしかならない。

齋藤安五郎さん

(坪野・しものなかだん)



- ①料理をしながら体操したり、ニンニク栽培と雪割り豆の二毛作をしたり、竹の子採りにイワナ釣りと山騒ぎをしたい。
- ②豊かな山と澄んだ川があるところ。イワナをたくさん釣ってたらふく食べられる。
- ③一人暮らしなので人に迷惑をかけるように、料理、洗濯、掃除、裁縫をしながら健康に気をつける。坪野の空気は最高!

大正10年生まれ

山田さとさん(屋敷・茂平)



- ①体がきけば何でもしたいけど、体力が思うようにいかない。できるなら畑で草取りをしたい。
- ②秋山は大きな災害もなくいいなと思う。秋山は気楽に暮らせていい。
- ③村の人達はみんな親切。自分もみんなと仲良くしたいいつも思っている。

山田政治さん(五宝木)



- ①年をとって思うようにいかないこともあるが、できる限りパソコンや俳句を続けたい。
- ②人間がいい。雪があるから心も豊かになるように思う。雪が多いけれども、雪が多いとその年は山菜が豊富になる。
- ③みんな同じ人間だから、若い人も年よりも誰にでも平らに付き合う事。村の人に迷惑をかけることをしない。



『堺村に初等学校が出来た頃』

あーそんなことがあったんか
ど先生の栄村昔語り 其の二十



地域史料保全有志の会
鈴木努（通称：ど先生）
イラスト作成：佐藤洋平

大寒の季節、お元気で過ごしていますか。この冬は年越しの頃からしばらく積雪がほとんどないような日が続きましたが、小正月のあたりから降雪が急に増えました。村役場が公開している森地区の積雪量の推移を見ると、小正月からの積り方が、大雪だった年の降り始めの頃とよく似た積り方を示しています。これでも例年の半分くらいといいますが、事故も多いと伺っております。どうかお気を付けてお過ごし下さい。

前回は明治九年（一八七六）から一一年（一八七八）の九月に堺村で学校が開校したようだというお話をしました。今回はその続き、この学校がどこにできたか、というお話です。
古文書のなかに手がかりをさがしてみましよう。

古文書には、「式番組」で学校

を開校したと書いてありました。

また前段の方には「三番組」とい

う文言もあります。村用掛の倉科

健逸が「三番組」まで出張記を読

み聞かせて納得させたといえます

から、「番組」が何かの組織を表し

ているのは確かです。この古文書

が書かれた明治九年から十一年頃

は、日本の地方制度の近代化過程

のなかで「大区小区制」が行われ

ていた時期です。大区小区制は、

もともと明治四年（一八七一）に

制定された戸籍法の第三則の四、

五丁（町）または七、八村で戸籍編

製の組合を作れという規定によっ

て出来た戸籍区を地方の行政区画

に転用したものです。最初は大小

のない単一の区でしたが、大蔵省

の通達により明治六年（一八七三）

から戸数に応じて大区・小区が設

けられました。なお長野県は近隣

の県より少し遅れて明治七年から

大区小区制を採用しました。

このあたりの様子は『栄村史』

にも書かれており、明治

五年（一八七二）に志久

見村と箕作村は現在の

飯山市などにあたる一〇

か村の内として高井郡第

五十二区に属し、明治七

年七月からは北第二十一

大区六小区の内、明治八

年六月に堺村が成立して

からは堺村の内の箕作村および志

久見村となります。

「番組」はこうした地方制度の法

規のなかには入っていませんが、

史料を見ると「番組」に置かれた

用掛が徴税などの役割を負ってい

ました。写真（右下）にあげた明

治九年の民費（いまの町村税）受

取証は「三番組 斎藤甚右衛門」が

出したもので、彼は同年の別の租

税受取証で「用掛り 斎藤甚右衛門」

と署名しています。公務を請け負

う用掛が属する「番組」は、公的

な性格の組織とみるべきでしょう。

大区小区制の時期、ほかの府県で

は旧村を解体して新たに区分けす

ることが多かったのですが、長野

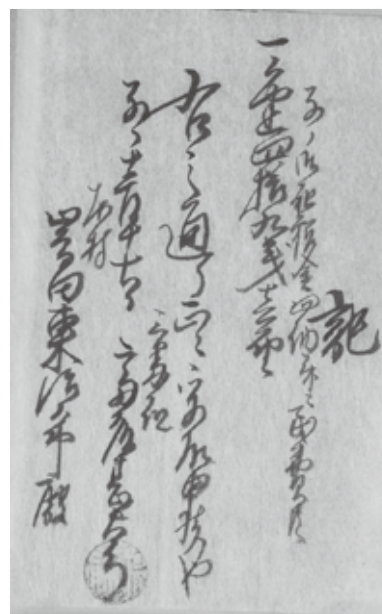
県の大区小区制は近世以来の村々

を最小単位として区分けする姿勢

だったといわれます。栄村域でも

近世の箕作村や志久見村が「番組」

という形で埋め込まれる形で区分



けされたのでしょうか。

そこでこの時期の史料を探して

みると、「式番組」は箕作村のうち

箕作、「式番組」は箕作村のうち月

岡、「三番組」は箕作村のうち長瀬、

「四番組」は志久見村の内、と

書いたものがありました。これで

学校が開校したのは月岡地区らし

いということが分りました。では

もう少し、学校のことを調べてみ

ましよう。続きます。

毎号連載している、努先生
の昔がたり、ライブ版を開
催します！

○古文書から読み解く

2月10日（金）午後6時

会場…北野天満温泉

内容…長瀬に巣守がいた？巣守と

越後で高倉山の土地争い？

今明かされる栄村の歴史

栄村風土記

新年を迎え、「今年は昨年より雪が少なかったのでは」と思った矢先、一月半ばにやってきた寒波によって、栄村が誇る、豪雪地となりました。栄村には「冬籠り」という言葉があるように、冬になると家でお茶のみをしたり、手わるさ(手仕事)をしている人も多いのではないのでしょうか。豪雪地ではありますが、機械化や融雪の技術の発展により、便利な暮らしを送れるようになりました。今から20年前は集落内の



白鳥地区 どうろくじん

除雪はできず、家の前まで車が入ることはできませんでした。更に20年前は、車は雪の下にして乗ることができず、春になると掘り起して使用していました。仕事のできない冬は出稼ぎへ行く人も多かったようで、栄村の成人式が8月に行われるようになったのも、成人者が出稼ぎへ行って村にいないことがきっかけだったようです。

冬の年中行事といえば正月と七草、小正月のどうろくじん、豆まきで、それぞれにやり方は違うと思いますが、そういった行事を楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。昭和40年頃の年中行事を調べてみると

- ・ 1月3日 釜神様の年とり
- ・ 1月11日 若木むかえ
- ・ 1月15日 (地区によって異なる)
とりおい・もぐらもちひき
どうろくじん
くし餅
- ・ 1月16日 仏様の年とり
- ・ 1月17日 豆こなし
- ・ 2月1日 川神さまのまつり
- ・ 2月7日 大黒講
- ・ 2月8日 事始め
- ・ 2月12日 十二講
- ・ 2月15日 みみだんど

・ 4月8日 薬師様

といろんな行事があったようです。「あくなつかしいなあ」と思うものや「今でも続いているぜえ」というものもあるのではないのでしょうか。これらの行事は信仰や無病息災、豊作や安全を祈願して行われたもののようです。それぞれの行事に合わせてこめつこなのだんごや料理が出され、長く厳しい冬のこういった行事は心が和むひと時だったのかもしれない。

この時代を経験した方は「大変なのはおたがいさまと、融通をきかせながら暮らしてきた」「みんなでいつ共有林の春木山をするか等を決めて共同で暮らしを支えてきた」と語ってくれます。栄村はよく「人があたたかい」といわれますが、この人情も長く厳しい冬を隣近所協力し合いながら支え合い、川の神や山の神、釜の神といったそれぞれの神様に感謝し、豊作や無事を祈願しながら自然と共存してきた暮らしがあったからではないのでしょうか。

90歳を超える方は「熊に会った時は人と同じようにまずあいさつをする」とおっしゃっていました。その方は山でカモシカの子に会い、一緒に遊んできたこともあると言います。

まるで昔話の金太郎の世界かと思いますが、それだけ山の生物を尊重し、共存しながら山の資源を活用して暮らしてきたのだと思います。山菜を採るときはその植物が枯れてしまわないように採る、木を伐るときは山が成長しやすいように伐る…。自分の損得ばかり考えず、相手のことを気遣う精神は人間に對してだけではなく、自然に對しても同じだったのかもしれない。

今の暮らしを昔のような暮らしにするという事ではありませんが、近代化や都市化が進み、失われゆくものが多い今だからこそ、昔の風習や暮らし、山の資源を有効に活かす知恵や技には光るものがあり、おたがいさまの精神には人を引き寄せるものがあるのだと思います。さて、節分の翌朝にコウツキを使つて雪を処理すると48日間荒れるという言い伝えがあるそうです。昔は2月4日に雪が積もっていても天気が荒れないようにと無理をしてコウツキを使わなかったとか…。現代ではスコップになるのかもしれませんが、今年の4日の雪の具合はいかがでしょうか。

おおきくな～れ

仮面ライダーエグゼイド大好きです!
雪の降る日も元気に
保育園へ通っています。



しんや
真矢くん (6さい)

関澤 真さん・フェさん宅 (森)



年輪 (144)

年輪は風雪に耐えて積み重ねた歴史であり銘木の条件でもある。
激動の明治・大正・昭和そして平成を生きてきざみ込まれた人
生の年輪は磨かれた銘木のごとく輝く。

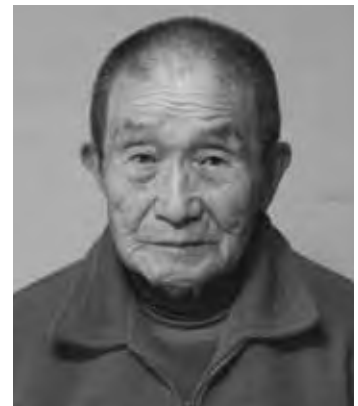
①人生を振り返ってみて… ②うれしかった・楽しかった
思い出は… ③今思うこと・言いたいこと



保坂良知 月岡 (85歳)



市川芳司 月岡 (88歳)



南雲巳吉 月岡 (87歳)

①月岡生まれ。尋常高等小学校を卒業後、下高井農林学校へ進学。卒業後、百姓をしながら、4日クラブや青年団産業部に所属し、仲間と共に村の産業開発に取り組んだ。
②村おこし懇話会から始まり、会員120名程で部門に分かれて栄村の資源発掘や村の産業開発にアイデアを出し合ったりしたときは楽しかったし、生きがいを感じた。この活動が評価され、全国で奨励されたこともうれしい。
③昔は山林を大切に生活してきた。年中行事として春木山やヒロノ抜き、藤葉取り等をみんなで協力し、分け合い、活用してきた。そういうものに産業のヒントがあると思う。栄村で産業を起すには、資源と土地の広さをどう活かすかが大切。

①月岡生まれ。5人兄弟の一番上。父が12歳の時に戦死したため、炭焼きや薪作り、田んぼを手伝いながら兄弟たちの子守をした。冬は東京や静岡へ出稼ぎにも行ったが、うちを増築してエノキ栽培をはじめたり弟の工場へ行ったりもした。
②子どもを3人もうけたことがうれしい。次男が寿司屋として店を構えたことや子どもたちそれぞれが親の世話にならないようにと自立し、今では毎週のように来てくれることもうれしい。
③健康が一番。自分の好きな畑や山騒ぎができる。近所の人たちが料理を持ってきてくれたり、お茶のみに誘ってくれる。子どもたちも健康でいてくれる。今が一番幸せ。これからも一日1回味噌汁を作って食べ、自然のものを食べて体に気をつけたい。

①月岡生まれ。尋常高等学校を卒業後、下高井農林学校へ進学。学校の寮で生活をした。その後農協、役場と勤めた。結婚後は家が大百姓だったため、百姓を継いだ。当時戦後で植林が盛んで、雑木を伐採したものを木ざりで出したり、そこへスギを植林したりと働いた。
②子どもが生まれた時が一番うれしかった。今では子どもや孫、ひ孫と増え、屋根の雪堀や田植え、稲刈りを手伝ってくれる。11月の家族みんなで行った温泉旅行も楽しかった。
③うちでは子どもや孫が協力してうちの仕事をみんなやってくれるし、月岡では立派な公民館も完成した。今の若い衆はしっかりと立派にやってくれているので、何も言うことはない。



僕は、下高井農林高校の野球部に所属しています。冬の時季は、室内で基礎トレーニングや筋トレをしています。雪が解けて春になったら一試合でも多く勝っていきたいです。個人的には打率一割以上を目指し、チームに貢献できるように頑張りたいと思います。少ない人数ですがみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思います。皆さん応援よろしくお願いします。

齋藤碧人さん(15歳) 長瀬



小さな花を摘まんだり、畑の土をいじったり、拾ったクルミを水溜まりで洗ったり、空から落ちてくる雪を見て声を上げたりと、娘の小さな発見やあそびが面白く、四季折々の自然の中で子育てできることを幸せに感じています。散歩に出れば声をかけてもらい、毎日行くトマ

トのお風呂では常連さん達に可愛がってもらえ、周りの人たちの温かさがとても嬉しいです。また、しめ縄作りやみみだんご教室、つぐら教室などに参加し、村の伝統文化に触れることも楽しみの一つです。

保坂直子さん(39歳) 森

村民広場

2月3月の公民館事業

○みみだんご教室

2月11日(土)午前9時30分～
会 場：栄村公民館
参加費：500円

○地域資料保全有志の会 報告会

3月5日(日)
会 場：栄村公民館
※詳細は後日お知らせします

○ロケットストーブ作り

3月11日(土)午前9時～
会 場：栄村公民館
参加費：1000円程度
内 容：作って便利! 木材をエネルギーにしたストーブをつくらう!

編集後記

雪深い栄村になりました。冬はマイナスなイメージが多いですが、やっと冬が来たと待ち望んでいた人もいます。やっと手仕事ができる、ゆつくりうちにいられます。いろんな思いはありますが、せつかくなのでこの暮らしを楽しめたいですね。

(佳)

芸文協通信

栄村俳句会 (12月句会より)

ひとひらの もみじしおりに 本を閉じ 馬場澤子

S L の 枯山流る 黒煙 関谷貞子

愛犬の 死を悲しむか みぞれ降る 山田政治

銀賞 高3 南雲まりな
金賞 高3 桑原絵里華

晴耕雨読

高3 大庭明莉
高2 広瀬竜也

中2 太島美羽(条幅)
中2 滝澤新史(条幅)

特選 高2 樋口杏夏
小6 樋口爽乃(条幅)
銅賞 小6 樋口爽乃(半紙)
中1 桑原由妃(半紙)
中2 桑原由妃(半紙)

桂雪会 長野県書道展で入賞しました!

2

生活カレンダー

行事予定

5日(日) 第46回栄村スキー大会
《さかえ倶楽部スキー場 8:30～》

14日(火) 園開放日《北信保育園 9:00～11:00》

28日(火) 園開放日《北信保育園 9:00～11:00》

健康ガイド

詳しい内容等については
健康支援課にお問い合わせください。 電話 87-3020

7日(火) 離乳食フォロー《集団健診室 10:00～》

8日(水) ちょいとずく出してみよう会
《集団健診室 14:00～》

15日(水) 子育て相談日《集団健診室 9:00～》

22日(水) ちょいとずく出してみよう会
《集団健診室 14:00～》

23日(木) じょんのびサロン《森公民館 10:00》

24日(金) 乳児健診《集団健診室 13:00》



平成28年度 健康を考える集いの日程について

本年度も各地区公民館等を会場に、「健康を考える集い」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

○内容：健康の話、レクリエーション ○日程（下記）

月 日	午前 (10:00～11:15)	午後 (13:30～14:45)
2月7日(火)	柳在家公民館(柳在家、切欠)	志久見公民館(雪坪、志久見)
2月9日(木)	極野公民館(極野、中野)	長瀬公民館(長瀬、笹原)
2月10日(金)	野田沢公民館(野田沢)	大久保公民館(大久保、天地)
2月13日(月)	泉平公民館(泉平)	箕作公民館(箕作)
2月14日(火)	月岡公民館(月岡)	小滝公民館(小滝)
2月15日(水)	原向公民館(原向)	北野公民館(北野、当部、天代、坪野)
2月16日(木)	白鳥公民館(白鳥)	平滝公民館(平滝)
2月17日(金)	青倉公民館(青倉)	横倉公民館(横倉)
2月27日(月)	森公民館(森、五宝木)	
3月17日(金)	屋敷公民館(屋敷)	上野原公民館(上野原)
3月22日(水)	小赤沢公民館(小赤沢)	和山公民館(和山)

【問合わせ先】 健康支援課健康増進係 ☎0269-87-3020

世帯と人口 (1月1日現在)

世帯数	864世帯	前月比±0
総人口	2010人	-5
男	963人	-4
女	1047人	-1

12月中の異動

出生	1
死亡	10
転入	4
転出	0

お詫びと訂正

広報さかえ1月号の20ページギャラリー紹介において誤りがありました。正しくは次のとおりです。

誤)保坂 凜 さん 正)保坂 凜 さん

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

◆ 編集後記 ◆

連日続く雪の対応お疲れ様です。外で作業する際は屋根の雪庇や倒木また用水路など身の回りの安全を確保して、安全第一で作業が行えるよう心掛けましょう。 (裕)



最高気温	16.4℃	12月5日 (月)
最低気温	-6.0℃	12月29日 (木)
平均気温	2.6℃	総雨量 319.0mm